

第18回 理事会議事録

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

第17回 理事会 議事録

1. 開催日 平成30年7月7日(土) 10:05-17:10
2. 開催地 立正大学品川校舎
3. 出席
理事 山西哲郎 信原 靖 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 高野由紀 平島俊次
楠見耕介 愛場庸雅 新帯 亮 藤島由宇 茅野耕治 村越 真 島津 弘
大里真理子 奥田健史(12時退席) 瀬川 出(12時以降出席)
(欠席) 羽鳥和重 荻田育徳 遠藤匠真
監事 尾上秀雄 (欠席)齋藤和助
記録 高村 卓
4. 議長 定款に従い、山西会長が議長となり開会した
5. 議事録署名人 定款に従い、山西会長、尾上監事を指名した。

審議事項

第1号議案 アンチ・ドーピング規程の修正

規程内の語句の修正 ドーピング捜査→ドーピング調査
以上、審議の結果、出席理事16名全員が賛成し承認された。

第2号議案 国際会議への派遣費用についての内規

次年度より、国際会議派遣費用を予算に確保する。当該年度の国際会議派遣を希望するものは、5月末日までに事務局に提出する。

申請があった派遣申請については、業務執行理事連絡会にあげ、派遣費用を決定する。

- ・国際会議派遣費用についての内規、旅費規程等に準ずる。

以上、審議の結果、採決を行い出席理事16名全員が賛成し承認された。

第3号議案 会員支援の見直しについて

①2016年、2017年の2年間で、大会等からの支援金が30件/3,105,800円になった。会員への支援は、26件/1,280,000円となり、1,825,800円が剰余金として残っている。以上を踏まえ見直し案が出された。

カテゴリでの見直し 現行A、B、Sをロング、ミドル、スプリントとし、ロングは1000円、ミドル・スプリントは500円とする。実施は2019年度から。

以上、審議の結果、出席理事16名全員が賛成し承認された。

②支援すべき会員及び非会員が公認大会を開催した場合には、集まった支援金はその会員及び非会員に渡す。この措置は2年前に遡って実施する。

以上、審議の結果、出席理事賛成15名、反対1で承認された。

③支援必要な会員で学連登録者がいる場合は、JOAから学生1人500円を、本年度から支援する。

以上、審議の結果、出席理事賛成15名、反対1名で承認された。

④分配金額について、現行3~7万円の金額をそれぞれ1万円増額する。修正額4~8万円。

以上、審議の結果、出席理事賛成7名、反対8名で否決された。

⑤支援必要な新規会員、復活会員には、3年間10万円支援。この措置は2年前に遡って実施する。

以上、審議の結果、出席理事賛成13名、反対2名で承認された。

第4号議案 全日本大会2018年以降の計画について

次期プロデューサーの西村氏から、2018年度には全日本大会を開催せず、2019年度に全日本ミド

ルと、全日本ロングとの2日間大会とする提案が出された。本提案に対してはプロデューサーの方針として了承されたが、6月に開催された「O-Forum」においても、2018年度の全日本大会がないことは、特に20Eクラスに大きな影響がある。モチベーションが下がる等、多くの懸念が出されていた。理事会においても競技上の影響を心配する意見が出た。オブザーバーとして参加された山川氏から、2018年度の全日本大会の開催について提案が出され、検討されたが、結論まで至らなかったため、7月末までに業務執行理事連絡会を開催し方向付けることにした。

以上、審議の結果、採決を行い出席理事16名全員が賛成し承認された。

第5号議案 全日本大会の名称について

全日本大会の名称について、全日本オリエンテーリング選手権大会とし、各大会名の後に括弧書きでそれぞれ競技名を入れる。(ロングディスタンス競技)、(ミドルディスタンス競技)、(スプリント競技)、(都道府県対抗リレー競技)とし、大会回数は継続する。

名称については、条件整理が済んだ時点で実施してゆく。

以上、審議の結果、採決を行い出席理事16名全員が賛成し承認された。

第6号議案 NavigationGames2019 について

継続して進めることが確認された。

以上、審議の結果、採決を行い出席理事16名全員が賛成し承認された。

第7号議案 公認大会のエリートクラスに関する規則を抜本的に改正することへの方針

エリートクラス出場資格規則の改正方針

- ・一般の公認大会では、原則としてEクラスを設置しない。
- ・成績の基準は、順位からタイムに変更する。

2019年度発効を目指して、競技委員会で作業を進めることになった。

以上、審議の結果、採決を行い出席理事16名全員が賛成し承認された。

討議事項

①第44回全日本大会の報告

山川氏から、大会の報告がされた。参加数は、前回より減った。財政再建が課題として残った。競技的には参加者の満足度が高かった。

村越副会長から、オリエンテーリングとは何か、ロング競技とは何かを示す、良い見本

になった。こうした大会の中核にはプロが必要だと認識していると、この2年間の謝意が述べられた。

②SALMING japan から、オフィシャルスポンサーBへの応募

- ・年間30万円のオリエンテーリングシューズを提供して戴ける。
- ・オフィシャルスポンサーとして、きちんとした扱いをしてほしい。他のシューズメーカーと同列に扱ってほしくない。

スポンサー契約へ進むことを承認。今後として、競技特性に合った用具かどうかの確認を行いたいと提案がで、テスターとして「瀨川、高野理事」に靴を提供して戴くよう依頼することになった。

デザートとの関係性については、これから交渉する。

担当は、大里理事が進める。

③JOC 承認団体から、準加盟又は正式加盟への移行について

準加盟になる条件の調査を継続。

④マナーコードの制定

オリエンテーリング宣言(仮称)をJOAとして制定することを目指し公募を行う。

以上

第18理事会 平成30年7月7日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

監事

尾上 秀雄

印

理事会議長

山西 哲郎

印
